

学校教育目標		重点目標（中・長期的目標）	総合評価				
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心の調和的発達を期する。 4. 課程、学校の性格を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。		1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。					
		今年度目標	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策
		(1)基本的な生活習慣を確立させ、生徒個々に将来を見据えた進路希望を持たせるとともに、その実現を支援する。	基本的な生活習慣の確立が、学力向上や進路実現につながることを意識させてきた。進路に対する希望をより具体的にさせ、なぜ学ぶのかを自覚させることも大切である。		○		キャリア教育を体系化して、入学時から将来の目標を立てさせることで、自己の生き方を考えさせる。
		(2)生徒会活動や部活動などを活性化し、協調性や社会性を養い、一人一人の個性が輝く活動の場を幅広く提供する。	生徒会は、挨拶・清掃、地域への貢献などを目標に活動してきた。また、清掃活動や雪かきといった奉仕活動にも積極的に関わる部活もあり、生徒が協調性や社会性を養う地盤ができてきた。	○			文化祭等の行事を通して、さらに協調性や社会性を高めることができるように支援する。
	(3)より開かれた学校をめざし、家庭・地域との連携を強め、その実現をはかる。	学校、PTA、生徒会などの行事を通して、家庭や地域との連携が強くなっていく。		○		家庭との連携については、こまめな情報提供により行事などへの関心を高めてもらい、参加率も上げたい。	

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	改善策・向上策	
教育活動	教育課程	入試動向を見据えた教育課程の改訂を行う。	入試動向に関する情報を精査し、本校生徒の実情に合致した教育課程を編成できたか。	現状では、現行の教育課程でほぼ対応できるが、今後、本校生徒の実情にあった教育課程の改訂を考慮したい。		○		新課程施行3年となるので、実情にあった教育課程への改訂を行う。	
	進路指導	進路指導	(1)主体的な進路選択と個に応じた進路実現の支援 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化	(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。	概ね適切に遂行できた。主体的な進路選択へと向かう、様々な学びの場をキャリア教育の観点から、さらに再構築していく。大学進学から就職までの多岐にわたる進路実現に向けて、それぞれの特性に応じた指導体制を充実させる必要がある。進路指導に関わる職員への情報発信と情報共有、進路通信「羅針盤」を通して、生徒・保護者への情報提供を継続する。	○			進路保障の充実に加え、キャリア教育の観点からの学力保障を充実させる必要が求められている。教育活動における様々な学びの場をキャリア教育の観点から検証、再構成していく。生徒が主体的に学びへと向かう方策について、さらに取り組む必要がある。
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	キャリア教育の推進ができたか。		○			
	人権平和教育	(1)人権平和教育の推進により、人権に対する意識を高め、平和な社会をめざす生徒の育成を図る。 (2)学校人権教育連絡協議会の円滑な運営をし、校種間における人権教育のあり方について理解を深める。	(1)人権平和教育について、生徒・職員への啓発ができたか (2)実施時期、内容は適切であったか。 (3)連絡協議会を通じて、情報交換および職員間での共有ができたか。	(1)憲法学習、講演会、連絡協議会、平和学習では、事前・事後の指導を通して生徒・職員にもともに意識啓発ができた。 (2)内容は概ね適切であったが、実施時期については考慮の余地がある。 (3)公開授業では、全職員の協力を得ることができた。様々な校種の参加者とも情報交換でき、普段の授業における人権教育を考える機会となった。	○			事前学習により、人権平和学習への意識向上を図る。実施時期を検討する。	
	図書	(1)楽しく、豊かな読書体験ができるような環境を整える。 (2)教科や係と連携して、主体的な学習の援助を行う。	(1)図書館から新着図書紹介などの情報が発信できたか。 (2)教科や係の必要とする資料やサービスが提供できたか。	(1)新着図書案内で紹介した本についての反響が生徒からも職員からも大きく、案内の配付は有効であった。 (2)教科や進路面接、小論文作成での利用も多く、資料提供ができた。		○		様々な図書館サービス・図書委員会活動を更に充実させ、読書や学習を促していきたい。	
	視聴覚	(1)芸術鑑賞(音楽鑑賞)を通じて、芸術に触れる姿勢や態度の育成を図る。 (2)情報モラル教育を推進する。	(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられたか。 (2)教科(情報を中心とする)や特別活動を通じて、情報モラル教育を推進できたか。	(1)マナーについては、概ね良好であった。 (2)社会的にも様々な問題が生じているので、今後も、継続的に情報モラル教育を行っていく。		○		今後も、情報モラル教育等を充実させていきたい。	
	生徒指導	(1)挨拶の励み・身だしなみ(特に頭髪)の改善を図る。 (2)マナー・モラルの推進を図る。 (3)学習環境整備(遊び感覚からの脱却)を図る。 (4)人権教育の推進を図る。	(1)身だしなみや挨拶に自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に毅然とした対応ができたか。	(1)学年の協力の下、定期的な点検と挨拶の指導ができた。(2)地域住民からの苦情はない。J R 乗車マナーに関するすべての高校への連絡として受けた。 (3)生徒会役員・有志による校内実生活動が実施された。授業中のマナーも改善されてきた。(4)いじめ・暴力(加害)事件は発生していない。他校生徒による暴力被害が1件あった。		○		・コミュニケーションの基本は挨拶からをモットーに挨拶を励行していきたい。・マナー・モラルは社会生活を送る上で非常に重要であるので、次年度も重要項目として指導を継続したい。・「いじめ防止対策推進法」の制定を受けて、人権教育係・教育相談係と連携していじめ防止に一層取り組む必要がある。	
	教育相談	(1)心の問題を抱える生徒への対応を行う。 (2)学年会との連携を密にし、生徒の状況把握をする。 (3)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)①問題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 ②担任・学年会としっかり連携がとれたか。 (2)生徒の状況把握がしっかりできたか。 (3)スクールカウンセラーをはじめ、外部機関との連携がとれたか。また、校内でのチーム支援ができたか。	(1)今年度はカウンセリングを受ける生徒、回数も例年に比べかなり少なかった。しかし、心に問題を抱える生徒は多く、担任、学年等で対応にあたった。(2)学年会との連携により、生徒の状況の把握を行うことができた。 (3)スクールカウンセラーの意見も参考に、連携した生徒支援が行えた。		○		・担任、学年との連携を密にすることにより、生徒の状況把握を行い、早めの対応ができるようにする。	
	生徒会	(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る。 (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり。 (3)地域やPTAとの連携。	(1)生徒会活動を通じて成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率、および活動実態はどうであったか。 (3)地域やPTAとの交流の機会を積極的にもつことができたか。	・職員の協力を得て各行事に取り組み、生徒はよい経験を積むことができた。 ・県大会からの壮行会を実施することができ、クラブの活性化につながった。 1年生の加入率も上昇した。		○		・生徒会活動が安定して行なえるためのリーダーの育成。 ・より多くの生徒が生徒会活動に加わることができるような雰囲気作りと広報活動、および分担制の工夫。	
	美化	校舎内外の美化に取り組み、学習しやすい環境を整える。	日々の清掃活動およびゴミの分別がきちんとできたか。	日々の清掃活動では、全校で清掃を行うことの徹底がまだできていない。ゴミ分別では、ゴミ箱にゴミを入れる段階で分別できていないクラスが多い。			○	・ゴミの分別の仕方について、委員会を通じて呼びかけられる。・ゴミの総量を減らす工夫が必要である。	
	保健	(1)健康教育の充実。 (2)生徒一人一人の健康状態の把握と保健管理。	(1)健康維持推進のための健康教育が適切に行われたか。 (2)健康診断と事後指導は適切に行われたか。	(1)学年と協力し、1年「薬物乱用防止教育講演会」2年「性教育」が実施された。(2)診断結果を全生徒に配付し、事後指導に役立った。		○		特に冬季の感染症予防に関して、さらに予防接種、手洗い励行を訴える。	
	教務	庶務	本校教育活動の円滑な運営	係や学年と連絡を密にして、職員間のコミュニケーションを取ることができたか	各分掌との連絡をとったが、まだ十分とはいえない。		○		諸行事企画段階で、各分掌の検討事項を明らかにして積極的な関わりを求める。
		広報・情報	(1)ホームページを魅力あるものにして、開かれた学校づくりにより畜与する (2)校内ネットワークの安全かつ効率的な運用	(1)ホームページ、学校案内等で赤穂高校の魅力が伝わったか (2)校内ネットワークが安全かつ効率的に運用されたか	(1)ホームページは、トップに新写真が載り、見る人の興味を引いた。学校パンフレットは、普通科・商業科をひとつにまとめた。このフレームをしばらく引き継ぎたい。 (2)校内ネットには、かなり以前のファイルも保存されているので整理を要する。	○		ネットワークの更新を機に、サーバー内のファイルの整理を進める。	
防災		防災意識を高め、緊急時に備える	防災意識を高めることができたか	避難訓練の状態から判断すると、防災意識を高める余地はまだある。		○		被災の実態を生徒に知らせ、防災意識を高める。	
学校運営	予算施設	(1)学校予算について検討協議する。 (2)校内施設や設備の管理について協議推進する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。 また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。 また、整備・修理が適正に行われたか。	(1)適正に執行できた。(優先順位、希望目への配慮) (2)教室配置について検討したが、研究発の移動等工事費用や職員人数とスペースに課題があり、現状通りとなった。来年度においては、5月ころの早い時期から検討する必要がある。		○		教室配置について1学期中に検討し、移動や整備等の必要があった場合、夏休みを利用して行う。	
	学校運営検討	学校運営上の問題等について検討し方向性を出す。	学校運営上の問題に対して迅速に対応できたか。	本年度は、委員会を開いて検討する学校運営上の問題はなかった。		○		学校運営が円滑にいくよう各委員会・係と連携する。	
	PTA	PTA活動の円滑な運営と多くの保護者の参加の促進	PTA活動が円滑に行われ、多くの保護者が参加し、子ども・学校と関わりを持つことが出来たか。	・総会は平日にもかかわらず大勢の保護者の参加を得られた。 ・評議員会やPTA作業、合唱コンクール、PTA研修旅行などにも多くの方の参加をいただき無事終了することができた。		○		10月に行事が重なり出席が大変なるので、来年度はPTA講演会を9月に変更するよう調整している。	
	同窓会	母校への支援を行う。	母校への支援ができたか。	全日制、定時制ともに最大限の支援ができた。		○		次年度も可能な範囲で母校への支援を行いたい。	
	学校評議員会運営	学校評議員会の効果的に運営する。	学校評議員からの意見や要望を学校運営に生かすことができたか。	学校評議員の方々から、様々な意見をいただき、学校運営等の参考にさせていただいた。		○		学校評議員からの意見・要望を全職員に周知する。	
	安全衛生	教職員の健康管理の推進を図る。	全職員に対して健康診断の実施と事後措置を実施できたか。	定期健康診断については、事後指導も含めて概ね実施できた。		○		引き続き職員一人一人の健康管理や学校全体の安全衛生管理について、的確な対応や呼びかけをしていきたい。	